

A.T. カーニー

## 「2022年の予測」を発表

### ～ グローバルなビジネス環境に影響を与える5つの出来事と世界的な潮流

本プレスリリースは、2021年12月16日にA.T. Kearneyより米国で配信された英語版の抄訳です。

経営コンサルティング会社A.T. カーニー（東京都港区、日本代表：関瀬 茂）のマクロ経済部門シンクタンクである[グローバル・ビジネス・ポリシー・カウンシル](#)（米国バージニア州アーリントン、以下GBPCと称す）は、「2022年の予測（原題：Year-Ahead Predictions 2022）」を公開しました。

今回で6回目の発表となる本レポートは、2022年にグローバルなビジネス環境に重大かつ短期的影響を与えると予測される出来事を選び分析したもので、世界の潮流を示唆するものです。

1年前にGBPCが「2021年の予測」を公開した際には、不確定要素に満ちているものの、効果が期待できるワクチンが投入されることで、アフター・コロナの世界は急速な経済成長期に入らざるを得ないと考えられていました。しかし現実には波乱に満ちたもので、今回公開した「2022年の予測」では、新型コロナウイルス感染症の長引く影響、そして最新の変異株から連鎖的に広がる影響により今後12ヶ月の動向が左右され、世界のビジネス環境は不安定な状況が続くであろうと予測しています。

A.T. カーニー GBPC のマネージング・ディレクターで本レポートの著者 エリック・ピーターソン([Erik R. Peterson](#))のコメント：

「サプライチェーンが抱える課題や供給不足は、今後1年続くでしょう。そして新型コロナウイルス感染症による長期的な損害は、商取引に影響を与えるだけではありません。各国政府や各企業は、サプライチェーンの問題を回避することだけでなく、世界の若者がコロナ禍におけるメンタルヘルスの問題から“失われた世代”になってしまわないようにするという、重要な役目を担っています。

このレポートでは、技術やエネルギーに関する重要な動向についても示しています。まず、ブロードバンドのインフラが向上することで、2022年はバーチャル医療がさらに拡大するでしょう。さらに、半導体分野は技術革新や投資によって、新たな高みに達するでしょう。また、リチウムの採掘が進む中で、より環境に優しい採掘ソリューションが生まれるでしょう。」

## 「2022年の予測（原題：Year-Ahead Predictions 2022）」で言及されている5つの出来事

1. 2022年、世界各国の政府は、パンデミックによって若者が被った、行動上・経済上の傷を癒すための施策を展開するでしょう。しかし、すでに手遅れ感は否めず、“失われた世代”が生まれてしまう可能性があります。
2. 各国政府も各企業も、ESG（環境・社会・ガバナンス）課題に対して真摯なアクションを起こすよう、社会的、政治的な圧力の高まりに晒されるでしょう。まずは、COP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）を受けて、気候変動に関して測定可能な前進を見せることが求められるでしょう。
3. バーチャル医療は成長し、前例のないレベルに達して、業界を生まれ変わらせるでしょう。
4. 地政学、経済、そして環境保護の力学が衝突することで、リチウムをめぐる潮目が変わるでしょう。
5. 半導体の需要急増は業界に活況をもたらし、明るい兆しになりますが、深刻な供給不足は続くでしょう。

※ 「2022年の予測／Year-Ahead Predictions 2022」全文（英語）は[こちらから](https://bit.ly/3yyA9Fr)  
<https://bit.ly/3yyA9Fr>

### 本件に関するお問合せ先：

A.T. カーニー 広報

メール：[Japan.PR@kearney.com](mailto:Japan.PR@kearney.com)

---

A.T. カーニーは、40ヶ国以上に拠点を有する世界有数のグローバルな経営コンサルティングファームです。1926年の創業以来、世界の有力企業・組織の信頼されるアドバイザーであり続けています。A.T.カーニーはパートナーシップ制度を採っており、顧客の最重要課題に対して短期的な成果をもたらすと共に持続的な成長を支援することをお約束します。詳しくは Web サイトをご覧ください。[www.jp.kearney.com](http://www.jp.kearney.com)